
2022年3月期 第2四半期
決算説明資料

2021年11月4日



エグゼグティブ・サマリー

決算概要

営業収益

2,532 百万円

営業利益

401 百万円

経常利益

431 百万円

最終利益

366 百万円

中間配当

1株当たり

3.75 円の復配

事業 ハイライト

米ドル/円スプレッド

0.0 銭 を **24** 時間 提示[※]

※パートナーズFXnanoにおける一定条件下の取引に限る

I. 決算及び事業の概況

II. 当社の経営目標及び株主還元について

III. 参考資料

本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2021年11月4日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2021年11月4日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

I. 決算及び事業の概況

2022年3月期第2四半期 業績(前年同期比(4-9月))

- 外国為替相場の変動率は、全体として著しく低調な水準
- 営業収益は、スワップカバー手法の弾力的な運用、業界トップ水準の提示レートナロー化を実行するスプレッド戦略の転換等によりトレーディング損益が堅調に推移し**増収基調**
- 営業利益は、前期の連結子会社事業撤退など不採算事業の見直しにより大幅なコストカットを推進し、販管費・一般管理費は389百万円減少し**増益**
- 最終利益は922百万円増加の**366百万円**で着地

	2021/3期 Q2 (2020年4~9月)		2022/3期 Q2 (2021年4~9月)		前年同期比 (単位:百万円)	
					増減額	増減率
営業収益	1,932	2,532	+599	+31.0%		
受入手数料	16	20	+3	+20.9%		
トレーディング損益	1,846	2,405	+558	+30.3%		
金融収益	4	2	▲1	▲44.3%		
その他の売上高	65	104	+39	+60.1%		
金融費用	84	51	▲32	▲38.5%		
売上原価	35	75	+39	+108.9%		
純営業収益	1,812	2,405	+593	+32.7%		
販売費・一般管理費	2,394	2,004	▲389	▲16.3%		
営業利益	▲581	401	+983	—		
経常利益	▲595	431	+1,026	—		
特別利益	0	27	+27	—		
特別損失	—	1	+1	—		
税金等調整前四半期純利益	▲594	457	+1,052	—		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲556	366	+922	—		



2022年3月期第2四半期 業績(前四半期比(4-6月))

- 市場の変動率はQ1より若干の上昇があったものの、全体的に低水準での推移
- 営業収益は、取引高が前四半期比 8.6%の増加、9月に想定を上回る 4.7億円の収益計上も、取引高に対して相対的に収益性の低いドル/円の割合が高まり減収(提示レートの変動はまずドル/円で開始したため)
- 営業利益は、販管費・一般管理費が前四半期(4~6月)に株主総会費用(6月開催)の計上があったことや広告宣伝費の減少により8百万円減少となるも営業収益減少が影響し減益
- 最終利益は31百万円増加の**199百万円**で着地

(単位:百万円)

	2022/3期 Q1	2022/3期 Q2	前四半期比	
	(2021年4~6月)	(2021年7~9月)	増減額	増減率
営業収益	1,278	1,253	▲25	▲2.0%
受入手数料	9	11	+2	+23.5%
トレーディング損益	1,211	1,193	▲18	▲1.5%
金融収益	1	1	+0	+6.3%
その他の売上高	56	47	▲9	▲16.3%
金融費用	26	25	▲0	▲2.7%
売上原価	42	32	▲9	▲22.1%
純営業収益	1,210	1,195	▲15	▲1.3%
販売費・一般管理費	1,006	997	▲8	▲0.9%
営業利益	203	197	▲6	▲3.1%
経常利益	203	228	+24	+12.0%
特別利益	24	2	▲21	▲87.8%
特別損失	-	1	+1	-
税金等調整前四半期純利益	227	229	+1	+0.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	167	199	+31	+19.0%

前四半期比決算概況

	2021/3期 Q2 (2020/7~2020/9)	2021/3期 Q3 (2020/10~2020/12)	2021/3期 Q4 (2021/1~2021/3)	2022/3期 Q1 (2021/4~2021/6)	2022/3期 Q2 (2021/7~2021/9)	前四半期 対比増減
外国為替取引高 [※]	2,436 億通貨単位	2,066 億通貨単位	2,357 億通貨単位	2,281 億通貨単位	➔ 2,476 億通貨単位	+8.6%
営業収益	902 百万円	1,123 百万円	1,457 百万円	1,278 百万円	➔ 1,253 百万円	▲2.0%
純営業収益	835 百万円	1,042 百万円	1,330 百万円	1,210 百万円	➔ 1,195 百万円	▲1.3%
経常利益	▲359 百万円	▲103 百万円	69 百万円	203 百万円	➔ 228 百万円	+12.0%

※外国為替取引高にはCFD(差金決済取引)の取引高(原取引単位を米ドルに換算)を含めて表示しております。

損益影響ファクター

前四半期比

- FX取引高 ➔
- FX収益性 ➔
- 販管費 ➔

- ・FX取引高は、米ドル／円のボラティリティが依然として低水準で推移した市場の影響を受けながらも、パートナーズFX nanoにおいて時間限定でドル／円をスプレッド0.0銭(売買同値)とするキャンペーンや、キャッシュバックキャンペーンに注力したこと等により増加。
- ・FX収益性は、相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が高まり若干の低下。(提示レートの変動はまずドル／円で開始したため。一方取引高は上記のとおり増加)
- ・販管費は、Q1に株主総会費用(6月開催)の計上があったことや、広告宣伝費の減少等により減少。



2022年3月期第2四半期(7~9月) 主な施策

- ◆ パートナーズFX nano『米ドル／円』スプレッド**0.0銭**を24時間提示※
- ◆ パートナーズFX nano『米ドル／円』以外の主要通貨スプレッドも**業界最狭水準**で提示
- ◆ 「約定力100%」のパートナーズFX『米ドル／円』でも**業界最狭水準**スプレッド**0.2銭**を提示
- ◆ CFD-Metals(金・銀／米ドル)にて「**業界最狭水準**スプレッド」を継続

※パートナーズFXnanoにおける一定条件下の取引に限る



パートナーズFX nano

–『米ドル／円』スプレッド0.0銭を24時間提示–

7月26日より米ドル／円 原則24時間
1回あたりの取引数量 5万ドル まで
スプレッド0.0銭(売買同値)を提示

※

nano 米ドル／円 7月6日～11月30日 ※原則固定(例外あり) ※メンテナンス時間を除く

スプレッド最狭!

第1位
FX会社別ランキング
MINKABU
2021年10月
スプレッド部門

7/26からの新条件

- 注文数量 5万通貨まで 24時間
- 注文数量 20万通貨まで 18:00~21:00

20万通貨までのお取引は、16:00～18:00 | 21:00～23:00の間0.1銭で取引可能!その他の時間も0.2銭!

さらに
米ドル／円 18:00～21:00

※

1回あたりの取引数量
5万ドル超から20万ドルまで
スプレッド0.0銭(売買同値)を提示

その前後2時間もスプレッド0.1銭で提示

nano 米ドル／円 7月6日～10月29日 ※原則固定(例外あり) ※メンテナンス時間を除く

スプレッド縮小キャンペーン
20万通貨までのお取引も業界最狭水準!

営業開始～	16:00	18:00～21:00	23:00	～営業終了
0.2銭	0.1銭	0.0銭	0.1銭	0.2銭

5:30～7:30は10万通貨が上限となります。

5万通貨までのお取引は24時間スプレッド0.0銭!

※主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。
メンテナンス時間(火曜日～金曜日 5:55～6:10)は適用時間に含まれません。

パートナーズFX nano

—『米ドル／円』以外の主要通貨スプレッドも**業界最狭水準**—

16:00～23:00

米ドル／円以外の**6通貨**において **業界最狭水準** スプレッド を提示 ※

nano

**スプレッド縮小
キャンペーン**
原則固定 (例外あり)

23
16

16:00～23:00
＜ハッピーロンドンタイム＞

7月5日～11月30日

業界最狭水準スプレッド

第1位
FX会社比較ランキング
MINKABU
2021年10月
スプレッド部門

 トルコリラ/円 NEW 1.0 pips	 豪ドル/円 0.4 → 0.3 銭	 ポンド/円 0.6 → 0.5 銭
 ユーロ/円 0.4 → 0.3 銭	 ポンド/米ドル NEW 0.6 pips	 豪ドル/米ドル NEW 0.4 pips

※主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。

パートナーズFX

「約定力 100%」のパートナーズFX

『米ドル/円』で**業界最狭水準**スプレッド **0.2銭** を提示

18:00~21:00

試験的に スプレッド縮小を実施

スプレッド

~~0.3銭~~ → **0.2銭**

※10月以降はスプレッド縮小キャンペーンとして実施中

The banner features a dark blue background with a city skyline at night. On the left, it says 'PFX スプレッド 縮小キャンペーン!' (PFX Spread Reduction Campaign!) and '2021年10月1日~10月15日' (October 1st to 15th, 2021). Below that, it reads '「100%の約定力」の PFX についてスタート!' (Start with PFX, which has 100% settlement power!). On the right, there is a yellow and white box with the Japanese flag and '米ドル/円' (USD/JPY). It shows a reduction from ~~0.3銭~~ to **0.2銭** (0.2 pips), with the note '原則固定 (例外あり)' (Fixed in principle, exceptions apply). The campaign hours are listed as '各日18:00~21:00' (Daily 18:00~21:00).

CFD-Metals(金・銀/米ドル)

16:00~23:00

CFD-Metals 金・銀/米ドルにて

「業界最狭水準スプレッド」提供を続行

金/米ドルにて

業界トップ水準のキャッシュバックも

続行中!

さらに

10月から銀/米ドルのスワップポイント

業界最高水準を提示

CFD 11月1日~11月30日

業界最狭水準
スプレッド

	金/米ドル	左記以外
16時~23時	0.3 pips	0.5 pips

銀/米ドル

	左記以外	0.3 pips
16時~23時	0.2 pips	0.3 pips

終日対象! 上限なし
キャッシュバック!

終日 3円

1単位あたり (1toz)

銀/米ドルはキャッシュバック対象ではありません。

四半期販管費推移(販管費内訳及び主要費目の推移)

<主な増減要因(2022年3月期第1四半期との比較)>

- 取引関係費 (減少):主に広告宣伝費の減少により28百万円減少
 事務委託費 (増加):暗号資産CFDの事業開始に向けた費用増加
 貸倒引当金繰入れ(増加):Q1に新興国通貨急落に伴う未収金の回収による貸倒引当金の取り崩し
 その他 (減少):Q1に株主総会費用(6月開催)の計上があったため

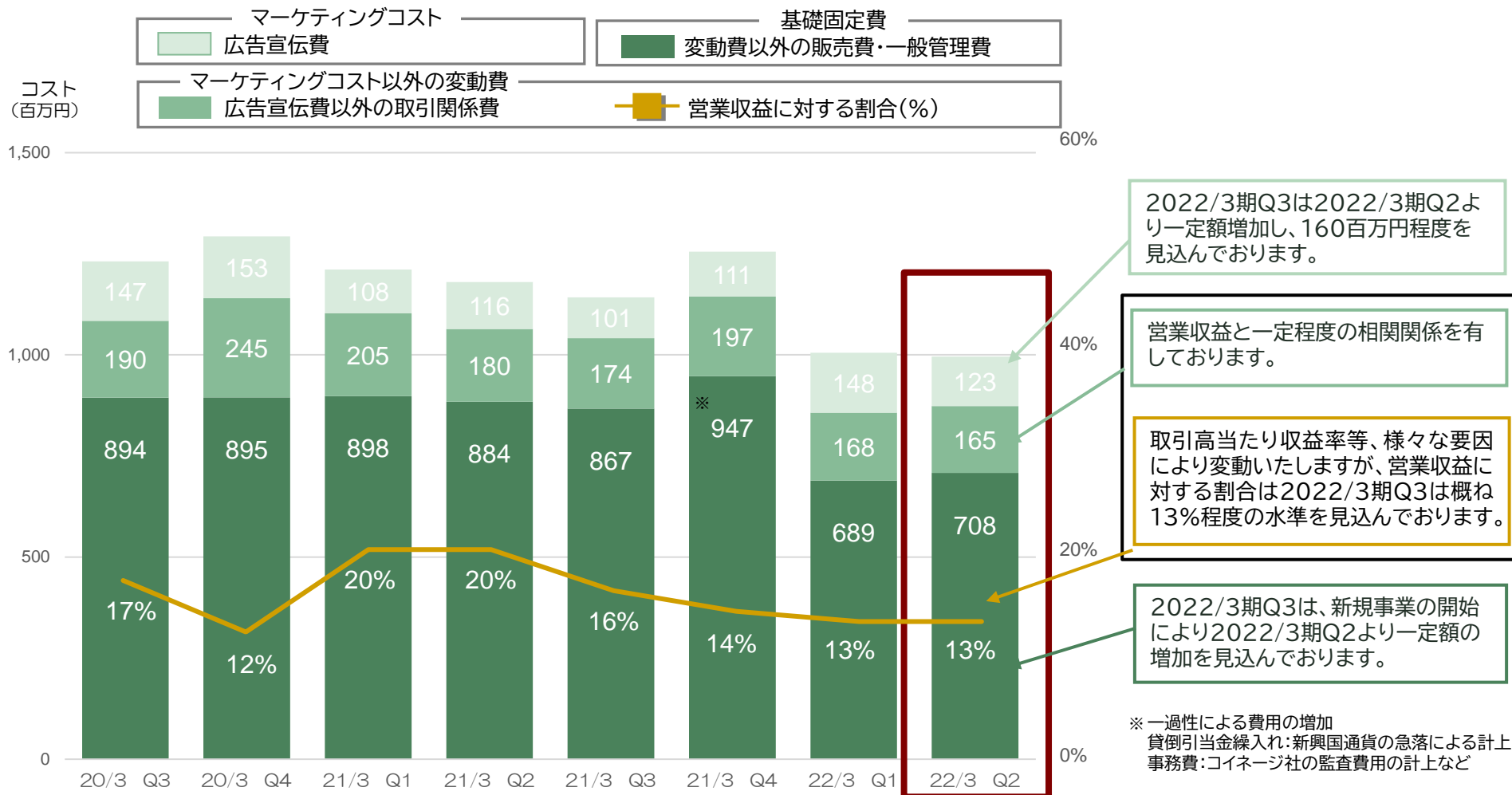
(単位:百万円)

	2020/3期		2021/3期				2022/3期		前第1四半期対比増減	
	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	増減額	増減率
取引関係費	338	398	313	297	276	309	317	289	▲28	▲8.9%
人件費	261	295	291	285	273	267	207	200	▲6	▲3.3%
不動産関係費※	182	178	168	163	156	166	142	132	▲9	▲6.7%
事務費	252	202	224	229	222	248	191	209	+18	+9.5%
減価償却費	148	151	153	173	173	158	135	137	+2	+1.5%
租税公課	28	43	31	15	22	12	22	25	+3	+14.3%
貸倒引当金繰入れ	▲0	1	▲1	▲0	▲0	74	▲26	▲6	+20	-
その他	21	23	30	17	18	19	17	8	▲8	▲49.3%
販売費・一般管理費計	1,232	1,294	1,212	1,181	1,143	1,256	1,006	997	▲8	▲0.9%
(主要な費目)										
広告宣伝費(取引関係費に含まれる)	147	153	108	116	101	111	148	123	▲25	▲17.2%

※不動産関係費には、不動産費の他、器具・備品費が含まれております。

四半期固定費・変動費推移と今後の動向

2022年3月期第3四半期の固定費は10月以降の暗号資産CFDのサービス開始(予定)に伴い増加を見込んでおります。広告宣伝費に関しては取引高増加に向けた既存のお客様への商品訴求(スプレッド0.0銭(売買同値))の強化はもとより、新規顧客獲得施策に伴う増加により、当四半期を超える水準を見込んでおります。



みんかぶFX会社比較ランキング「スプレッド部門」2021年10月 月間第1位獲得

マネーパートナーズは株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが運営している、みんかぶFX会社比較ランキング「スプレッド部門」において、2021年10月の1位を獲得しました。

現在、パートナーズFXnanoでは、米ドル/円の1回当たりの取引数量が5万ドルまでは終日スプレッド0.0銭※でお取引いただけるキャンペーンをはじめ、18時から21時まで5万ドル超から20万ドルまでスプレッド0.0銭※、ドル/円以外の人気通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド※を提供しております。

このような訴求を強化することで、マネーパートナーズの認知を高め、より多くのお客様にお取引いただけるよう取り組んで参ります。

※主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。
メンテナンス時間(火曜日～金曜日 5:55～6:10)は適用時間に含まれません。



暗号資産CFDについて

暗号資産CFDにつきましては、事業開始が8～9月から10月以降に変更となりました。ビットコイン/円・イーサリアム/円・ビットコインキャッシュ/円・ライトコイン/円の主要4銘柄を取扱う予定となっており、引き続き事業開始に向け取り組んで参ります。

2022年3月期第3四半期以降の取り組みについて①

《パートナーズFX nano》 米ドル／円

続行 1回あたりの取引数量**5万ドル** まで
原則**24時間**
スプレッド**0.0銭**(売買同値)を提示

続行 **5万ドル超**から**20万ドル**まで
18:00～21:00
スプレッド**0.0銭**(売買同値)を提示
その前後**2時間**もスプレッド**0.1銭**で提示

11月1日より 豪ドル／円

原則**24時間**
1回あたりの取引数量 **5万通貨** まで
スプレッド**業界最狭水準 0.2銭**

さらに

豪ドル／円 18:00～21:00 ※
5万通貨 超 から**20万通貨**まで
業界最狭水準0.2銭を提示

nano 豪ドル／円 11月1日-11月12日
※原則設定 (例外あり) ※メンテナンス時間を除く

豪ドル／円も
スプレッド業界最狭水準!

注文数量 5万通貨まで 24時間 0.2銭

20万通貨までのお取引は、16:00～23:00の間0.3銭で取引可能! その他の時間も0.5銭!

1回あたり5万通貨までのお取引は、24時間0.2銭!

注文数量 5万通貨まで 24時間 0.2銭

20万通貨までのお取引もスプレッド縮小継続中!

営業開始～ 16:00 23:00 営業終了

0.5銭 0.3銭 0.5銭

※主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。
メンテナンス時間(火曜日～金曜日 5:55～6:10)は適用時間に含まれません。

2022年3月期第3四半期以降の取り組みについて②

《パートナーズFX》

続行 米ドル／円 各日18:00～21:00[※]

「約定力100%」のパートナーズFX
業界最狭水準スプレッド **0.2銭** を提示

スプレッド ~~0.3銭~~ → **0.2銭**

11月1日より 豪ドル／円 各日18:00～21:00[※]

「約定力100%」のパートナーズFXでも
業界最狭水準スプレッド **0.3銭** を提示

スプレッド ~~0.5銭~~ → **0.3銭**

The graphic displays two promotional cards for MoneyPartnersFX. The top card is for USD/JPY, showing a spread reduction from 0.3 to 0.2. The bottom card is for AUD/JPY, showing a spread reduction from 0.5 to 0.3. Both cards mention a 100% commitment and industry-leading spreads.

通貨ペア	旧スプレッド	新スプレッド
米ドル／円	0.3銭	0.2銭
豪ドル／円	0.5銭	0.3銭

※主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。
メンテナンス時間(火曜日～金曜日 5:55～6:10)は適用時間に含まれません。

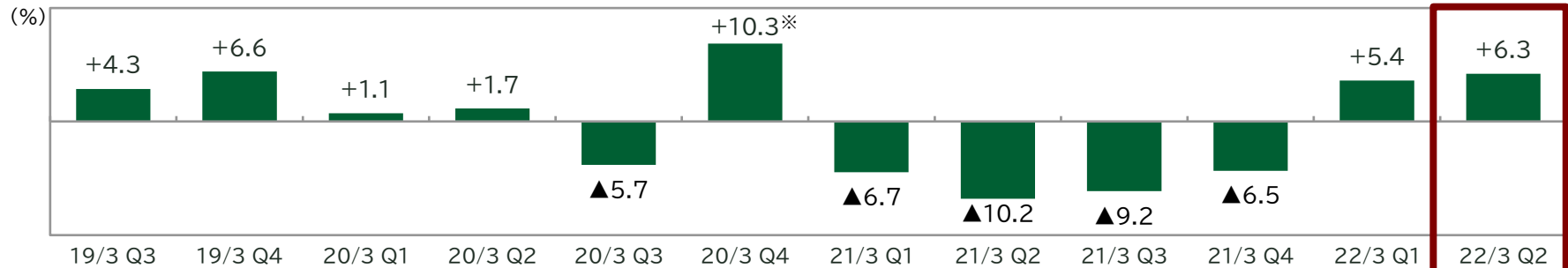
Ⅱ. 当社の経営目標及び株主還元について



当社の経営目標: ROE及び営業収益経常利益率の向上

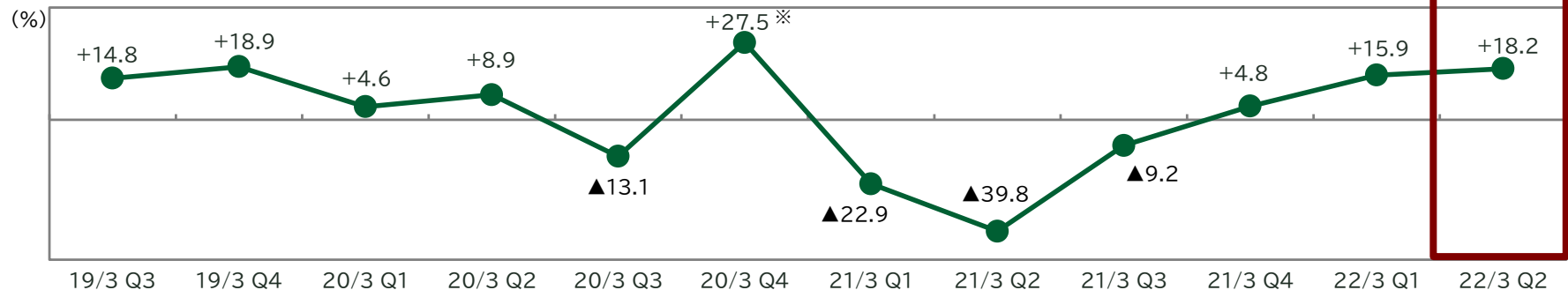
- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

自己資本利益率(ROE)



(注)四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (親会社株主に帰属する四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

営業収益経常利益率



※2020年3月期4Qについては、3月に新型コロナの影響を受け値幅が10円を超えるボラティルな展開となりました。その影響で営業収益は2010年5月以来の10億円を超えたため、一過性の収益となっております。



株主還元について

配当方針

配当性向
親会社株主に帰属する当期純利益の
30%を目途[※]

配当機会

中間及び期末(年2回)

※配当は、配当性向の目途を30%としつつも財務状況及び事業環境等を総合的に勘案して決定

		2021年3月期				2022年3月期			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		▲223	▲332	▲292	▲202	167	199		
	上段:3ヶ月 下段:累計	▲223	▲556	▲848	▲1,050	167	366		
配当金の総額(百万円)		16		—		122			
期末発行済		33,801,900		33,801,900		33,801,900			
株式総数(株)		(内、自己株式1,202,300)		(内、自己株式1,202,300)		(内、自己株式1,202,301)			
1株当たり 配当金	中間・期末	0.5円		0.0円		3.75円		未定	
	年間	0.5円				未定			

2021年3月期連結決算において、連結子会社の事業撤退に伴う損失等により誠に遺憾ながら期末配当を無配といたしました。2022年3月期第2四半期連結業績や事業環境等を総合的に勘案し、株主の皆様のご支援にお応えするため、1株当たり中間配当金を3円75銭とすることといたしました。

当事業年度のグループ経営方針に基き、基軸事業でありますFX取引を含む「店頭デリバティブ取引」へ経営資源を集中させ、FX取引の商品性の洗練化や新サービスの開始、また、不採算事業の見直し等の「選択と集中」を推進することでさらなる業績向上を目指し、株主の皆様への継続的かつ適正な利益還元の実現に努めてまいります。

III. 參考資料



社名	株式会社マネーパートナーズグループ
代表取締役社長	福島 秀治
設立日	2005年 6月10日
資本金	20億円
純資産(連結)	127億円 (2021年 9月末現在)
発行済株式総数	33,801,900株
連結子会社	株式会社マネーパートナーズ 株式会社マネーパートナーズソリューションズ コイネージ株式会社(清算中)



四半期連結業績推移

	2021/3期				2022/3期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
	(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	(4月～6月)	(7月～9月)
営業収益	1,030	902	1,123	1,457	1,278	1,253
受入手数料	7	9	8	10	9	11
トレーディング損益	995	851	1,045	1,362	1,211	1,193
金融収益	2	1	0	1	1	1
その他の売上高	23	41	68	83	56	47
金融費用	43	41	42	79	26	25
売上原価	10	25	39	47	42	32
純営業収益	976	835	1,042	1,330	1,210	1,195
販売費・一般管理費	1,212	1,181	1,143	1,256	1,006	997
営業利益	▲235	▲346	▲101	73	203	197
経常利益	▲235	▲359	▲103	69	203	228
特別利益	0	0	—	▲0	24	2
特別損失	—	—	189	573	—	1
税金等調整前四半期純利益	▲235	▲359	▲292	▲504	227	229
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲223	▲332	▲292	▲202	167	199

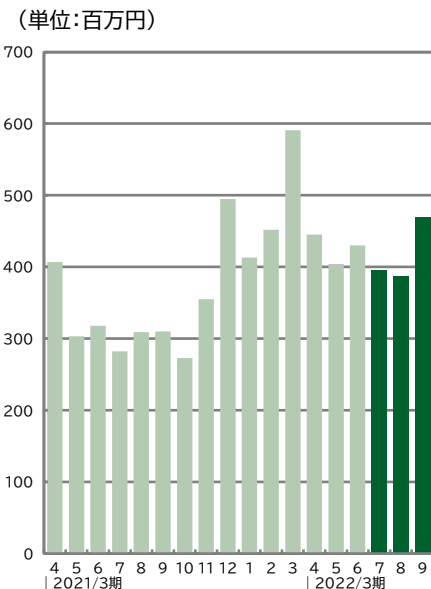
月次業績指標推移

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

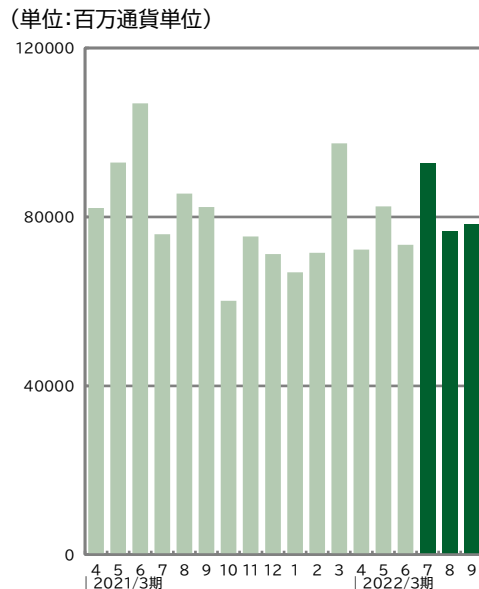
	2021/3期									2022/3期		
	10月	11月	12月	2021/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業収益(百万円)	273	355	495	413	452	591	445	403	430	395	387	470
外国為替取引高(百万通貨単位)	60,129	75,348	71,190	66,894	71,453	97,402	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411
顧客口座数(口座)	341,218	341,138	341,086	341,521	341,690	342,122	342,801	343,397	343,817	344,134	344,134	344,522
顧客預り証拠金(百万円)	62,104	61,812	61,175	60,590	59,575	59,081	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284
内、一般顧客(BtoB以外)	60,121	59,849	59,365	58,733	57,731	57,346	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825

※営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。
 ※2020年7月から2021年3月までの「営業収益」にはコインエージ社の数値が含まれております。

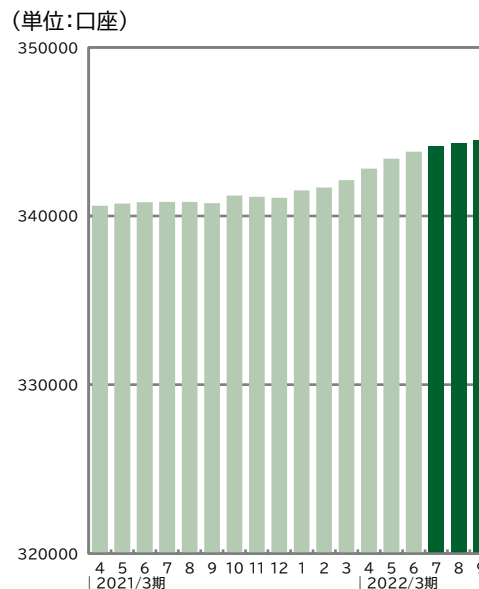
【営業収益】



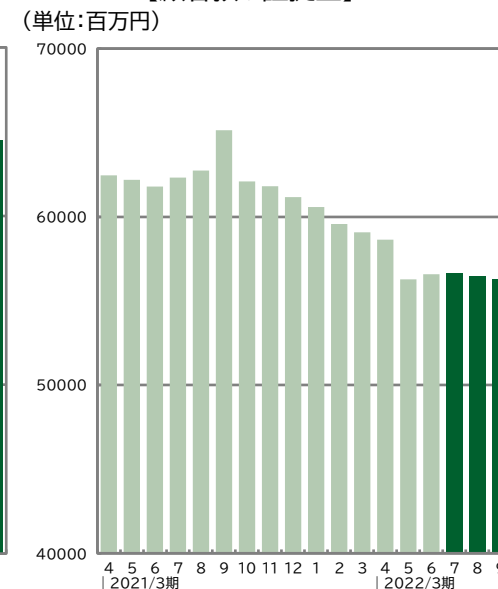
【外国為替取引高】



【顧客口座数】



【顧客預り証拠金】



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの受渡取引に限り、1通貨単位あたり0.10円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの建玉必要証拠金金額は原則、一般社団法人金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.75%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,750円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

2022年3月期 第2四半期
決算説明資料

2021年11月4日